

**令和5年度（第122回）
兵庫県大学図書館協議会総会議事要録**

日 時： 令和5年7月28日（金）午後1時30分～午後2時50分

開催方法： オンライン会議（Zoom） [担当：神戸大学]

参加者： 30大学 45名

1. 開 会 神戸大学 鈴木事務部長の司会により開会
2. 会長館挨拶 神戸大学 土佐幸雄 附属図書館長
3. 議長選出 神戸大学 土佐幸雄 附属図書館長を選出

4. 報告事項

- (1) 令和4年度事業報告について
会長館（神戸大学）から、配付資料に基づいて報告があった。
- (2) 大学図書館関係活動報告について
会長館から、各団体の活動が紹介されているホームページのURLを配付資料に掲載しているので、直接参照してもらうよう説明があった。
- (3) 令和5年度の兵庫県大学図書館協議会における研修等の企画提案について（意見照会結果）
会長館から、配付資料に基づいて、令和5年2月9日から24日に実施した研修等の企画提案に関する照会について結果の報告があった。

5. 協議事項

- (1) 令和4年度決算報告について
- (2) 令和4年度会計監査報告について
会計担当館（関西学院大学）から決算報告について、配付資料に基づいて説明があった。引き続き監事館（武庫川女子大学）から会計監査結果について、適切に執行されている旨報告があり、令和4年度決算について原案どおり承認された。
- (3) 令和5年度事業計画（案）について
企画委員会（神戸大学、関西学院大学）から、配付資料に基づいて提案があった。研修会は国立大学図書館協会近畿地区協会と共催で「西洋古典資料保存講習会」を12月頃に実施すること、見学会は9月22日に追手門学院大学・総持寺キャンパスのアラムナイライブラリーで実施すること、加盟館名簿は協議会ホームページ掲載の更新を行うこと、相互協力便覧は利用頻度の調査を実施して調査結果を参考として来年度以降の事業継続について協議すること、が提案され、原案どおり承認された。
- (4) 令和5年度予算（案）について
会計担当館から、配付資料に基づいて説明があり、原案どおり承認された。
- (5) 令和6年度会費について
会長館から、十分な繰越金があることから会費徴収を行わないことが提案され、了承された。

6. 承合事項

承合事項について、総会資料とは別に「承合事項」として別資料としている旨、議長より説明があった。

事前に照会していた承合事項は以下の通りである。

・学生による図書館サポーターについて

回答内容について、はじめに会長館から概要の説明があり、次いで特色ある事例について各大学からの事例紹介と質疑応答が行われた。

- ・甲子園大学から、画面を共有しながら、昨年発足した学生サポートチームについて、発足の経緯や活動内容、学生サポーターの活動によりレファレンスの件数が増えるなどの効果があったとの事例紹介があった。定例会を週2回行っていることに対して、大変ではないかとの質問に、学生主導で行っているため大変ではないとの回答があった。
- ・神戸松蔭女子学院大学から、コロナ禍で先輩から後輩への活動の引継ぎができなかったことから、今年の大学祭で今までの活動を振り返る展示を行い、その様子を図書館総合展でLive配信して出展団体賞を受賞した事例と、神戸大学の学生チームとの交流についての事例紹介があった。
- ・流通科学大学から、画面を共有しながら、図書館サークル「Libro」の事例紹介があった。主な活動に幼稚園や保育所、商業施設での読み聞かせや先輩学生の視点での図書館ツアーがあり、能力向上のためのアナウンス講習会を実施していることや、本が特に好きではないサークルメンバーが同じように図書や図書館が特に好きではない学生がどうすれば興味を持ってくれるか考えてイベント等を企画しているとの紹介があった。図書館等に興味がない学生を勧誘するにはどうしているかとの質問に対し、本や図書館に興味がなくとも、社会連携や子供との関わりなどをアピールし、新しいことをしたい学生が参加しているとの回答があった。
- ・神戸大学から、学生チーム「ULiCS」の事例紹介があった。主な活動は、「THE ULiCS Time」の発行、文庫の設置、定例会等で、運営を図書館職員のWG（アウトリーチWG）でサポートしているとの紹介があった。

以 上